

芥川賞受賞作



推し、燃ゆ

宇佐見りん 著 河出書房新社
三島由紀夫賞を最年少で受賞した作者による圧巻の第二作。「今」を生きる人たちの心の在り方が勢いよく描かれています。(石・国・南)

直木賞受賞作



心淋し川

西條 奈加 著 集英社
江戸の片隅、小さなどぶ川沿いの長屋に暮らす人々は人生という川のどん詰まりでもがいていた。生きる喜びと哀しみが織りなす連作時代小説。(石・国・南)

図書館であなたの人生の一冊に出会おう

読書人

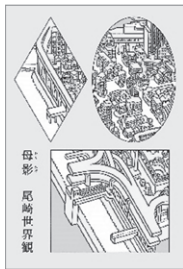
今月のテーマ

「芥川賞・直木賞」

1月20日に第164回芥川賞・直木賞の受賞作が発表されました。最終選考に残った作品と合わせてご紹介します。発表後に単行本化された作品など、現在発注中のもものもありますので、詳しくは図書館にてお尋ねください。



〈芥川賞候補作品〉



母影

尾崎 世界観 著
新潮社

学校に居場所のない母子家庭の少女は、母の働くマッサージ店の片隅からカーテンの向こう側を覗く。その先に見えたものとはいったい？

〈直木賞候補作品〉



インビジブル

坂上 泉 著
文藝春秋

戦後の混乱した時代に起きた連続殺人事件。その謎に新人刑事とキャリアが挑む！実在した大阪市警視庁を舞台に描かれたミステリー小説。(石・国・南)



旅する練習

乗代 雄介 著
講談社

サッカー少女と小説家の叔父。ふたりは利根川沿いに徒歩で千葉の我孫子から鹿島アントラーズの本拠地を目指す旅に出る。(石・国)



オルタネート

加藤 シゲアキ 著
新潮社

高校生限定のマッチングアプリ「オルタネート」。SNSなどがコミュニケーションの一部となった現代を舞台に、若者たちの運命が交錯する。(石・国・南)

〈他の芥川賞候補作品〉

- ・コンジュジ／木崎 みつ子 著 (集英社)
- ・小隊／砂川 文次 著 (文藝春秋)

〈他の直木賞候補作品〉

- ・八月の銀の雪／伊与原 新 著 (新潮社)
- ・アンダードッグス／長浦 京 著 (KADOKAWA)
- ・汚れた手をそこで拭かない／芦沢 央 著 (文藝春秋)

◇紹介文の最後に、所蔵している図書館を表示してあります。【(石)=石橋 (国)=国分寺 (南)=南河内】

所蔵館以外でも予約をかけていただければ貸出しが可能です。詳しくは図書館にお尋ねください。

石橋図書館 ☎(52)1136／国分寺図書館 ☎(44)3399／南河内図書館 ☎(48)2395

